

国際シンポジウム

# 東アジア地域交流の 歴史的変遷と発展状況



新潟国際情報大学  
センター

**主催** 新潟国際情報大学

**後援** 新潟県、新潟市、新潟日報社

**日時** 2008年7月12日(土)～13日(日)

**会場** 新潟国際情報大学中央キャンパス  
9階講堂

**入場** 入場無料

事前のお申し込みは必要ありませんが、定員(200名)になり次第、締め切らせていただきます。

## ごあいさつ



新潟国際情報大学長

**平山 征夫**

新潟は、古くから北東アジアとわが国との交流の拠点でした。近年の北東アジア経済圏の形成においても、中心的推進役を果たしてきました。その新潟に国際化・情報化への対応を目標に開学した本学も、東アジアの地域交流への貢献を重要テーマとしてきました。

今回同じ問題意識・研究目標を掲げておられる北京師範大学と共催で、東アジアの地域交流のあり方を考えるシンポジウムを開催することになりました。交流の主役は市民の皆さんです。多くの市民の方々のシンポジウムへのご参加をお待ちしています。



北京師範大学歴史学院長

**楊 共楽**

私たちは、東アジアの地域交流について新潟市民と一緒に討議するという新潟国際情報大学の発案に賛同し、この国際シンポジウムを通じて、東アジアの交流の歴史を顧み、現状を分析し、相互の対立を解消する道を探り、幸せな未来のあり方を探りたいと思います。

今回この機会によって、北京師範大学の教員はぜひ新潟市民の見解を学び、皆様の素晴らしい知恵を吸収したいです。同時に、私たちの研究成果を発表することで、国際交流と地域協力に関する皆様の思考に有益な参考を与えることができれば幸甚に思います。





開 会 (9:00)

特別講演

「東アジアの課題と新潟の役割  
—国際交流の経験から—

平山 征夫 (新潟国際情報大学長)



第1部

19世紀半ば以前の東アジアの地域交流

司会 區 建英 (新潟国際情報大学教授)

報告

● 漢唐以来の中国思想と東アジア・  
ヨーロッパとの文化関係

張 涛 (北京師範大学教授)

● ロシアとアジア諸国との伝統的交流

A・ブラーソル (新潟国際情報大学教授)

● 回族と中央アジア・西アジアとの文化関係

王 東平 (北京師範大学教授)

● 儒学と東アジアとの文化共有

張 昭軍 (北京師範大学教授)

コメント

楊 共楽 (北京師範大学教授、歴史学院長)

高橋 正樹 (新潟国際情報大学教授)

質疑応答



第2部

近代西洋植民主義の衝撃による  
東アジア諸国の関係変化

司会 池田 嘉郎 (新潟国際情報大学講師)

報告

● 植民地化の思想と近代アジア

越智 敏夫 (新潟国際情報大学教授)

● 西洋の衝撃と中国の外交体制の変化

王 開璽 (北京師範大学教授)

● 日本の植民地支配 —台湾、朝鮮、中国大陸

吉澤 文寿 (新潟国際情報大学准教授)

● 「東学」と中日文化交流の方向変化

史 革新 (北京師範大学教授)

コメント

孫 燕京 (北京師範大学教授)

申 銀珠 (新潟国際情報大学教授)

質疑応答





## 第3部

### 冷戦とポスト冷戦の東アジアの地域交流

司会 佐々木 寛 (新潟国際情報大学教授)

#### 報告

● 戦後日本の歴史教育と教科書問題

小林 元裕 (新潟国際情報大学准教授)

● 東アジア歴史教育国際交流

——中日交流を中心に

鄭 林 (北京師範大学副教授)

● ポスト冷戦期の中日経済協力

李 志英 (北京師範大学教授)

● ポスト冷戦期の東アジア国際関係動向

小澤 治子 (新潟国際情報大学教授)

#### コメント

唐 利国 (北京師範大学講師)

安藤 潤 (新潟国際情報大学准教授)

#### 質疑応答



## 総合討論

司会 高橋 正樹 (新潟国際情報大学教授)

#### 総合発言

● 東アジア地域主義の現在とヨーロッパの経験

臼井 陽一郎 (新潟国際情報大学教授)

#### 各部の報告

#### 質疑応答

#### 閉 会

# 会場案内



会場：新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス 9階講堂  
新潟市中央区上大川前通7番地1169 TEL:025-227-7111  
※駐車場はございません。公共の交通機関等を御利用下さい。

## お問い合わせ

**新潟国際情報大学(総務課)** (NUIS)

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1

**TEL 025-239-3111(代)**

URL: <http://www.nuis.ac.jp>